

## 福祉サービス第三者評価結果

事業所名	大分市認定こども園 ふたばこども園
------	----------------------

## 福祉サービス第三者評価結果

## ① 第三者評価機関名

特定非営利活動法人 第三者評価機構
-------------------

## ② 第三者評価実施期日

令和5年2月4日
----------

## ③ 施設・事業所情報

名 称： ふたばこども園	種 別： 保育所型認定こども園
代表者氏名： 園長 吉田 茂	定 員（利用人数）： 92 名
所 在 地： 大分県大分市広瀬町1丁目1番52号	
TEL： 097-543-2858	ホームページ： hutabahoikuen.ocn
<b>【施設・事業所の概要】</b>	
開設年月日： 1965（昭和40）年6月20日	
経営法人・設置主体（法人名等）： 有限会社大分ふたば	
職 員 数	常 勤 職 員： 16 名      非 常 勤 職 員      12 名
専門職員	（専 門 職 の 名 称）
	保育教諭（幼稚園教諭免許と保育士資格）・保育士・子育て支援員・栄養士
施設・設備 の概要	（居 室 数）
	保育室6・ホール・子育て支援室・園長室・職員室・事務室・休憩室・倉庫
	（設 備 等）
	冷暖房・トイレ・手洗い・園庭・プール・遊具

## ④ 理念・基本方針

理 念： 子ども・保護者・地域の幸せの創造

方 針：

○子どもたちにとって、ふたばこども園が心のよりどころになるよう努める

○子どもたちは未来を自ら創っていくことのできる子どもとして すでに認め、教育・保育を通じてその力の芽生え・開花を培う

○ふたばこども園の教育・保育は豊かな自然・豊かな人・豊かな時間をはじめとする環境のもと子どもたちが主体的に遊びや生活を経験できるよう援助する

### ⑤ 施設・事業所の特徴的な取り組み

- ・保育の質向上の取り組みとして、写真記録・ドキュメンテーションを作成し、子どもや保育の評価につなげ、より良い保育の質を高める工夫をしている。
- ・ノンコンタクトタイムの導入や社労士による研修の導入等により、働き方改革に取り組んでいる。
- ・新人研修を充実させるために、新人育成担当を任命し、主幹保育教諭とともに定期的な研修を進めている。
- ・オンライン研修（園内・園外）等を充実させ、保育者が楽しく意欲的に働けるように努めている。
- ・本年度より園内諸業務について ICT 化を進め、職員の働き方改革につなげていけるように努めている。

### ⑥ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和4年11月11日（契約日） ～ 令和5年 月 日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	6 回（令和 3 年度）

### ⑦ 総評

#### ◇特に評価の高い点

- ・園と家庭を繋ぐコミュニケーション手段アプリ内蔵の連絡ノート&業務の効率化等の働き方改革を視野にハグノートの活用がなされ、保育の質の向上を目指す前進的な仕組みづくりに取り組まれ、効力を発揮しています。また、ICT化の促進、さらなるシステムの利便性への追求に臨んでいます。
- ・認定子ども園の機能を地域に還元～地域に向けた「子育て講演会(対面)」開催。保育のPDCAサイクルを題目に「公開保育」越境学習を実践。南大分校区「地域ネットワーク会議」での情報把握など、2023年4月1日「こども家庭庁」設置を趣旨に開かれた保育支援へと、地域課題と向き合い発展的な運営に尽力されています。
- ・新人研修担当アドバイザー、働き方担当リーダー、食育リーダーの配置など、職務の専門性を活用した全職員参加型の循環保育システム構築に取り組んでいます。なお、コロナ禍に準じた「フェス型運動会(地域の小学校体育館にて)」開催や、子どもの主体性が活かせる環境設定の見直し等も、その一旦と言えます。

#### ◇改善を求められる点

- ・ICTを活用した情報提供の取り組みを行う中で、保護者アンケート・情報交換等を頻繁に実施しています。外遊び等、理念に沿いニーズに応じて実施する園の特徴は広く認識されているものと推察されます。その中で保護者の要望として、保護者同士の交流の機会や行事の参加等コロナ禍で困難な時ですが、工夫をし以前の様に定期的の実現されることを期待します。
- ・地域交流に関して、感染対策をしながら可能な範囲で子ども達が地域と関わる機会をもつことで、子ども達の体験の幅をより広げるよう期待されます。

⑧ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

本年度も第三者評価を受けさせていただきました。今年度より本格的に ICT システムを導入したこともあり、保護者との新しい形での連携や職員の働き方改革の更なる促進について大いに模索した年でもありました。次年度も更なる ICT の活用を通し、保育の質の向上を目指していきたいと思えます。また、昨年度ご指摘いただいた各種マニュアルの整備について、今年度は整備することができ、改善できたこともよかったですと感じています。そして本年度の課題としてご指摘いただいた園内保護者同士の交流促進や子どもと地域の交流・体験の場を増やしていくことについては、私どももかねてより大きな課題と認識していますので、ウィズコロナ期を踏まえ実施できる形を考究していきたいと思えます。本年度も大変ありがとうございました。

⑨ 第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。